

2019年6月24日
トヨタ車体株式会社

国立大学法人愛知教育大学と相互連携に関する協定を締結

国立大学法人 愛知教育大学（所在地：愛知県刈谷市 学長：後藤ひとみ）とトヨタ車体株式会社（本社：愛知県刈谷市 取締役社長：増井敬二）は相互の人的・知的資源の交流による連携を図り、社会貢献および学生の資質向上を目的に相互連携協定を締結しました。

愛知教育大学とトヨタ車体は、2014年のトヨタ車体「刈谷ふれ愛パーク」のオープン以降、連携を図ってまいりました。とくに「生物多様性の保全」や「ESDの推進」などの観点からビオトープを通じた自然共生活動や植物調査などについて愛知教育大学よりご指導、サポートをいただき、現在では四季折々の植物や生き物が育つビオトープに成長しました。2016年からは、地域や社員の家族を対象にした環境学習会を共同で開催してきました。

今回の締結を機に連携を強化し、大学がより質の高い教育を学生に提供できるよう側面支援をしていきたいと考えています。具体的には、愛知教育大学の科目の1つである「生きる力」を教える感性を磨くための実践力育成科目（自然体験活動）において植物や生き物との触れ合いや、自然体験などの内容の充実に向け協力してまいります。将来、この活動で学んだ学生たちが、環境の大切さを教え伝えることで、地球環境を大切に思い、行動する子供を1人でも多く増えることを期待しています。

これからもトヨタ車体は地域と連携し、子供たちが「自然と触れ合う機会の創出」や「自然共生の大切さ」を伝え、持続的可能な社会の実現に向けた地域づくり、子供たちの育成に貢献してまいります。

以上



自然体験活動（19年6月）



愛知教育大学とのコラボ環境学習会（18年9月）

